



2025 年 11 月 4 日

アクサジャパン サステナビリティ活動レポート 2024

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：安淵 聖司、以下「アクサジャパン」）は、アクサグループのサステナビリティ戦略の評価指標「AXA for Progress Index」に基づき、気候変動対策の取組みを推進しています。2024 年にアクサジャパンで取り組んだ主な活動について取りまとめましたので、ご紹介いたします。

■ 持続可能性を高めるための取組みと戦略「AXA for Progress Index」

世界 50 の国と地域でビジネスを展開するアクサグループは、「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパス（存在意義）を体現するために、地球環境や地域社会の課題解決に向けた取組みを推進しています。

アクサは、自社の行動をモニタリングし、より社会的なインパクトを高めていくための指標として「AXA for Progress Index」を導入しています。これは、気候変動分野においてリーダー的役割を果たし、インクルーシブ（包摂的）な保険会社を目指す持続可能な成長戦略における 3 つの行動領域の進捗を示しています。

アクサジャパンにおいても、2024 年 5 月にスタートした戦略計画「AXA Japan 2026」の主要イニシアティブの一つとして、「気候変動対策とサステナビリティ」を掲げ、温室効果ガスの削減やネットゼロへの貢献に向けた取組みを進めています。

投資家として

実経済において脱炭素への移行を後押しし、地域社会のレジリエンスを高めます

保険会社として

社会的・経済的に脆弱な立場にある人々をリスクから守るとともに、より持続可能で炭素依存の低い経済への意向を後押しする保険ソリューションを提供します

模範となる企業として

温室効果ガスの発生を抑制し、ポジティブインパクトを創出するために行動します

アクサグループの中長期目標「AXA for Progress Index」

- 移行資金として年間 50 億ユーロの投資を行います
- 2030 年までに、アクサの一般勘定資産の炭素集約度を 50%削減¹します

- 移行引受をサポートし、2024 年から 2026 年の損害保険料収入累計を 60 億ユーロ²に引き上げます
- 2026 年までに 9,000 件³以上の気候変動ソリューションおよびサービスを企業に提供します

- 2026 年までにアクサグループ従業員の気候適応に関する知識・能力の向上を図ります
- 2030 年までにアクサグループの事業活動による温室効果ガス排出量を 2019 年対比で 50%削減⁴するとともに、カーボンクレジットも活用します



■ アクサジャパンが2024年に実行した取組み

投資家として

・ グリーンボンドや環境配慮型不動産などへの投資

毎年50億ユーロをトランジションサポートに投資するというアクサグループの方針に沿って、アクサ生命においても年間2億ユーロの目標を定め投資を実行しました。投資対象は、グリーンボンド、環境に配慮した不動産、インフラストラクチャーや社会的課題の解決につながるビジネスを展開する企業を投資対象とするインパクトファンドなどで、幅広い資産に分散投資を実施しました。

・ 北海道・札幌市との連携による「ライラックスクエア」へのグリーン投資

アクサ生命は、「ゼロカーボン北海道」を掲げる北海道や「環境首都 SAPPORO」を掲げて脱炭素や再生可能エネルギーへの移行を進める札幌市と連携し、札幌市中島公園エリアにおいて高い環境性能を備えた複合ビル「ライラックスクエア」へのグリーン投資を実施しました。建築物の省エネ性能を評価する認証制度「BELS（ベルス）」において、最高水準の★6つを獲得し、建物の環境性能を評価する「CASBEE（キャスビー）」でも最上級のSランクを取得しました。加えて、LEED Gold 認証も取得予定です。

保険会社として

・ EV・PHEV車向け「EV割引」の提供（2016年以降の型式対象）

アクサ損害保険は、脱炭素社会の実現に向けた取組みとして「EV割引」を2022年から継続的に提供しています。「EV割引」は、ご契約のお車が自家用8車種⁵である場合、型式発売年月が2016年1月以降、かつ、当社が定めたEV（電気自動車）またはPHEV（プラグインハイブリッド車）に対し割引を適用します。

・ 「EV駆けつけ充電サービス」の提供（電欠時の現地給電支援）

アクサ損害保険は、ご契約のEV（電気自動車）の充電が切れ「電欠」状態となった場合に、現地へ駆けつけて給電を行う「EV駆けつけ充電サービス」を2023年から提供し、EVユーザーの安心をサポートしています。

模範となる企業として

・ 「アクサ ユネスコ協会減災教育プログラム」

[「アクサ ユネスコ協会減災教育プログラム」](#)による気候変動と減災に対する理解を促す社会啓発を2014年より継続的に実施しています。本プログラムに参加した各学校では、研修や活動助成をベースに減災活動に取り組んでおり、これまで、その活動に参加した児童・生徒・保護者・先生・地域の方々の数は延べ10万人を超え、2025年度で全47都道府県からの参加も実現し、減災の輪が日本全国に広がっています。

・ アクサ・ウィーク・フォー・グッド（AXA Week for Good）

持続可能な未来に向けた取組みについて考え、行動するアクサグループのグローバルイベント、「アクサ・ウィーク・フォー・グッド（AXA Week for Good）」を2011年から毎年実施しています。2025年は、6月16日～6月20日に「気候変動対策」と「ソーシャルインクルージョン」をテーマに開催し、全国でチャリティウォークやごみ拾いアプリを活用した清掃活動等を推進し、海洋安全に取り組む一般社団法人タラオセアンジャパンと、「当たり前前に混ざり合う社会の実現」を目指して活動を行っている特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会に115万円ずつ寄付しました。アクサジャパンでは延べ6,534名、従業員の約7割が積極的に参加しました。



- ・ タラオセアンジャパンによるラーニングセッションや大阪・関西万博への参画

アクサグループは、2023 年より海洋研究と保全活動を行うタラオセアン財団のパートナーとして、海とその生態系の保全活動を支援しています。アクサジャパンにおいても、タラオセアンジャパンと連携し、AXA Week for Good の一環として、タラオセアンジャパンと広島大学の和田先生を招き、海の大切さやブルーカーボンの役割について学ぶラーニングセッションを開催しました。大阪・関西万博期間中には、[特別展示イベント「大阪怪獣」](#)を支援しました。

- ・ 高知県・高知市と協働した「アクサの森」プロジェクト

高知県と高知市と3年間の協働の森づくりパートナーズ協定を締結（2023 年 7 月）しました。約 12 ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動をサポートし、CO2 吸収に貢献しています。また、地域の皆さまとの交流を深めるため、従業員とその家族が参加する間伐体験ワークショップを開催しました。

- ・ 「AXA Climate Adaptation」 e ラーニングプログラム

2025 年から、従業員への環境啓発活動の一環として、アクサ独自の e ラーニングプログラム「AXA Climate Adaptation（気候適応）」をアクサグループ全世界で導入しています。このプログラムは多言語で展開されており、日本語版も 5 月にローンチ済みです。アクサジャパンでは、2025 年 9 月時点で受講率が 92%に達しており、気候変動が経済、人間、そして社会に与える影響を理解するとともに、気候適応に対する社員の意識向上を促進しています。

- ・ コンポストセミナーなど、社員の行動変容を促す啓蒙活動

2023 年から引き続きローカルフードサイクリング社の「なつやすみコンポスト大研究」に協賛しており、外部講師を招いてコンポストに関するセミナーを実施するなど、社員一人ひとりが日常の中でアクションを起こせるような啓蒙活動を定期的に実施しています。

- ・ 日常ですぐにできるサステナブルな取組みを紹介した[オリジナルハンドブック](#)（E-book 展開）

- ・ 節電キャンペーン

従業員の環境意識向上や電力削減のため、社内で冬と夏に節電キャンペーンを実施しました。都道府県と各拠点にて昨年対比で電力使用量の削減率を競い合い削減への行動を促進しました。

- ・ 2023 年より全社有車のハイブリッド車への切替を順次実施し、2028 年までに全車両の切替が完了予定。

- ・ オンラインツール活用による出張最適化

- ・ ウェブサービス「MyAXA」などのデジタルサービス推進による紙削減・書類電子化

- ・ オフィスの再生可能エネルギーへの移行、非化石証書の購入

オフィスの再生可能エネルギーへの移行を推進しています。移行が難しい拠点については、非化石証書を購入し、再生可能エネルギー導入拡大を推進しています。

- ・ 東京都「HTT 取組推進宣言企業」として表彰

アクサジャパンは、東京都の「HTT 取組推進宣言企業」に登録され、2023 年 12 月には、節電対策や[ハンドブック](#)など環境への取組が高く評価され、[「優良取組企業」](#)として東京都より表彰を授与されました。2024 年度、HTT の連携企業として、アクサジャパンの脱炭素化に向けた取組みが HTT 特設サイト [「あつまれそれぞれの HTT 連携企業」](#)に掲載されています。



1. 対象範囲: 企業債務および株式、不動産株式
2. 対象範囲: アクサ・フランス、アクサ・ドイツ、アクサ・スイス、アクサ・イギリス、アクサ・ベルギー、アクサ・香港、アクサ・メキシコ、アクサXL。単位:総収入保険料(GWP)。期間:2024年から2026年の累計。
3. 対象範囲: アクサ・フランス、アクサ・ドイツ、アクサ・スイス、アクサ・イギリス、アクサ・ベルギー、アクサ・香港、アクサ・メキシコ、アクサXL。単位:総収入保険料(GWP)。期間:2024年から2026年の累計。これには、(i) 研修/教育、(ii) リスク評価/意識向上、(iii) ギャップ分析、(iv) 予防/適応策、および/または (v) 危機管理/修復対応が含まれる。
4. 対象スコープ: エネルギー (Scope1 および 2)と自動車、出張に伴う温室効果ガスの総排出量を 50%削減し、残りの排出量については、カーボנקレジットを活用。(Unit: tCO2 eq.)
5. 自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽四輪乗用車、自家用小型貨物車、自家用軽四輪貨物車、自家用普通貨物車(最大積載量 0.5 トン超 2 トン以下)、特殊用途自動車 (キャンピング車)

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険の2社を擁しています。

アクサグループについて

アクサは世界 50 の国と地域で 154,000 人の従業員を擁し、9,500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2024 年の売上は 1,103 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 80 億ユーロ、2024 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 8,790 億ユーロにのびます。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2024 年 1 月～12 月の業績です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社
コミュニケーション・ブランド&サステナビリティ
電話：03-6737-7200
<https://www.axa-holdings.co.jp/>